

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		StairYouth Tsukushi				公表日	2025年3月31日 月曜日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3件	-	・設置基準に基づき、支援を行っています。また、活動の妨げや事故につながらないように不要なものは置かないようにしています。	-	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2件	1件	-	・スタッフが体調不良などの理由で急に欠席する際に、見守り等の問題により、カリキュラム内容を変更せざるを得ない場合があります。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3件	-	・物の数を少なくして、落ち着いて過ごせるような環境を作っています。 ・不要な情報が入ることによって当事者様が混乱しないように児童発達室内にものを設置しないようにしています。	・エレベーターはありますが、通路が狭く、車いすを利用する場合に不便に感じるかもしれません。 ・建物内にエレベーターの設置がありますが、事業所への入口が少し狭いです。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3件	-	・各座席の近くにゴミ箱を設置し、ゴミを捨てやすいようにしています。 ・昼食前などのアルコール消毒や手洗いなどこどもたちにも清潔を意識できるように働きかけを行っています。	-	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	1件	2件	・一人になりたいなどの希望がある場合は相談室にて過ごすように配慮しています。 ・個別な対応が必要な場合は、相談室を使用しています。	・ワンルームをリフォームして、相談室を仕切って作っているような間取りであるため、構造上、個別で過ごすことが難しい場合があります。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3件	-	・支援等において、課題と感じられるような状況があった場合にスタッフ全体で話を共有する機会を作っています。 ・週に1回以上はスタッフ間で支援方法やカリキュラム内容について、ミーティングを行っています。	-	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3件	-	・保護者様より支援方法や支援員についてのアドバイスを頂いた際、必要に応じて支援方法の改善を行っています。 ・毎年保護者向け評価表に目を通し、業務改善に努めています。	-	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3件	-	・支援等において、課題と感じられるような状況があった場合にスタッフ全体で話を共有する機会を作っています。 ・始業時に前日の振り返りや、当日の流れを確認するミーティングを行っています。 ・職員間で気になることがある際に、随時、声を掛け合うようにしています。	・長期休暇など利用時間が長くなっている際に職員間の情報共有や支援方針の検討の機会が少なくなる場合があります。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		3件	-	・第三者評価は受けていません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3件	-	・研修に関しては、各職員に通知し、自分から参加希望の意思が表明できるようにしています。	-	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3件	-	・ホームページ全体を使って、プログラムが明記されるようになっています。	-	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	3件	-	・利用開始時を始めとして、年1回の定期的なアセスメント評価の実施の他、放課後等デイサービス計画の更新時やこどもたちの様子に変化が見られた際など随時、評価の見直しを行い、計画の変更に活かしています。	-	

13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3件	-	・気になる行動や課題が見られた時に職員間で共有し、支援について話し合う機会を作っています。 ・作成された計画は職員間で共有し、意見を出し合う機会を作っています。	-
14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2件	1件	・計画作成時に職員間で共有を行い、日々の活動内容についても職員間で検討を行って、チームで決めています。	・職員間で計画の共有は随時、行っていますが、実際の支援において職員が自分の考えを優先してしまい、計画への意識が薄れてしまう場合があります。
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2件	1件	・ミーティング時に日々のこどもたちの様子について、情報共有を行っています。	・アセスメントは随時、様々な方法で行うことができていると思いますが、日々の記録などフォーマルなアセスメントに関して、作成することが目的となり、効率よく内容を支援に活かすことができていると言いき難い場合があります。
16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3件	-	・大阪市の参考様式に基づき細かく項目を設定し、支援内容も利用者が読んで意識しやすいように特に具体的な表現を意識して記載するようにしています。	・大阪市のガイドラインに基づき、作成を行っていますが、計画の項目が多く目標等の焦点がどこにあるのかが分かりづらくなっています。
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3件	-	・プログラム内容は毎回、児童指導員や保育士など各職員が話し合って作成しています。 ・始業時のミーティングにて行っています。	-
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3件	-	・こどもたちの特性に合わせて同じ活動を行うこともありますが、生活や季節などに合わせて必要な内容のテーマを行うようにし、幅広い内容のプログラムが行えるようにしています。 ・利用者の特性を踏まえた上でその人の発達段階に合わせたカリキュラムを提供するように心がけています。	-
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3件	-	・こどもたちの特性に合わせて、他者との協働を目標とした内容を計画の中に取り入れて支援を行っています。	-
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3件	-	当日の朝には必ずミーティングを行い、当日のカリキュラムの支援のポイントや主な対象者について話し合いをしています。	-
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1件	2件	・支援の中で気になることや課題については必ず振り返りを行うようにしています。	・利用者様によってはスタッフと一緒に帰宅練習に取り組んでおり、付き添ったスタッフは復帰する場合がありますので当日に必ずミーティングを行うことは難しいことがあります。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	2件	1件	・日々の支援に関しては、毎日、記録の作成を行っています。	・記録を毎日、取っていますが、日によって記載される内容の量に差があり、支援の改善に十分に活用できているとは言えない場合があります。
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3件	-	・定められた期間（6か月）のモニタリングの他、必要に応じて、支援計画の見直しの必要性について職員間で検討をしています。 ・単に更新のためのモニタリングにならず、職員間で検討を行い、計画の内容変更・改善につなげられるようにしています。	-
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	3件	-	・カリキュラムの作成において、どの活動も含むことができるように工夫を行っています。	・どの項目も支援の中で行うことはできていますが、地域交流などは比較的少なく、項目によって頻度に偏りがあります。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	3件	-	・活動内容などの参加に関しては子ども本人にも説明を行い、選択できるように工夫しています。 ・自身でカリキュラム内容を決定する機会を、その都度設けています。	-
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2件	1件	・可能な場合はこどもの状況をよく理解した者が参加できるようにし、複数名で参加する機会を持つようにしています。	・ケースによっては児童指導員などの現場職員の方が情報共有しやすい場合がありますが、現場職員の配置状況により会議の時間帯や日程等の理由で参加できない場合があります。

関係機関 や保護者 との連携	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2件	1件	・必要に応じて、学校を始めとした各関係機関と情報共有を行う機会を作っています。	関係機関との連携を重視して行っていますが、サポートしてもらうことが多く、こちらから他機関に働きかけることが少ないため、協力・協働とは言い難い場合があります。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	2件	1件	・学校から要請があった場合や学校での合流の際に情報共有を行うようにしています。	・弊所は送迎車を用いて行う従来型の送迎は行っておらず、支援学校でスタッフと合流し公共交通機関を利用して事業に登所するようにしています。そのため、基本的に学校とのやり取りはご家族様にお任せしております。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	-	3件	-	・ 弊所を利用している利用者様は中高生以上の方が多く、学童以前の事業所の利用が終了してから日が経っており連携する必要性が高いとは言えないため、連携できていないのが実情です。 ・ 中学生・高校生が対象の放課後等デイサービスの為、情報共有ができていない場合があります。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3件	-	・ 卒業の際に、家族へ事業所から卒業後に利用する予定の事業所へこれまでの支援の経過についての引き継ぎ等の提案を行うようにしています。 ・ 卒業のため弊所の利用を終了される利用者様に関しては、必要に応じて進路先の機関へのケース会議に出席し、情報共有を行えています。 ・ 保護者様から希望があれば、情報提供を行っています。	-
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	-	3件	-	・ 必要性は感じているが実際には行えていません。 ・ 法人内の事例検討会等で講師の方より助言を受ける程度になっています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	-	3件	-	・ 交流等の必要性は感じていますが、サービス提供時間帯等の理由で実施することができていません。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1件	2件	・ 業務に余裕がある時にはできるだけ参加するように心がけています。	・ 現場職員の配置状況により会議の時間帯や日程等の理由で参加できない場合があります。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	3件	-	・ 連絡が取れる保護者や希望がある保護者へはこまめに連絡を取るようにはしています。 ・ 電話やメールにて情報共有を行っています。	-
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2件	1件	・ 特性に関する理解を深めてもらう観点から、外部研修の案内等を配付しています。	・ 事業所内のプログラムを重視し、家族など外部への向けた支援に手を回す余裕がない時があります。 ・ お知らせの配付だけになっており、必要な説明など参加がしやすいような働きかけができていないと思われます。
保護者へ	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2件	1件	・ 書面での説明等に関して、見やすさや文章の分かりやすさを重視して作成を行っています。	・ 部分的な変更などについて、細かい説明はできていないことがあります。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3件	-	・ 家族からの意見は言いやすいようにこちらから声をかけて、聞くようにしています。 ・ 対象児の特性や課題に合わせて個別支援計画を作成し、必要に応じてカリキュラム内容に反映しています。	-
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	3件	-	・ 保護者に合わせて、説明の方法や説明の量を調整して同意を得るようにしています。	-
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3件	-	・ 利用時の様子を電話で連絡した際や面談時等、ご家族様より頂いた相談には可能な限り対応するようにしています。	-
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	-	3件	-	・ 保護者会を開催していません。 ・ 利用者本人に関する支援は重視することができていますが、それ以外のきょうだいに関しては支援ができていません。

の 説 明 等	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3件	-	・苦情に関しては事実確認を重視し、自分の思い込みで即座に否定しないように心がけています。	-
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	3件	-	・週に1回はカリキュラムの様子などをInstagramに投稿しております。また、月に一回程度行っている、レクリエーション主体の土曜日活動の様子もInstagramに投稿しています。 ・Instagramを週ごとに更新しています。	-
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3件	-	・個人情報の取扱いについてはスタッフ自ら意識をしたり、スタッフ間で声かけを行えるようにしています。 ・個人情報を関係他者に共有する際、必ずご家族様の了承を得てから行っています。	-
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3件	-	・口頭だけではイメージが難しい方にはイラストや見本を提示する等、視覚支援を用いる等伝え方を工夫しています。	-
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	-	3件	-	・特にイベント等で地域と連携するような機会は作ることができていません。
非 常 時 等 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2件	1件	・定期的に避難訓練を行っています。 ・年に2回は避難訓練を実施しています。	・マニュアルの策定や訓練の実施はできていますが、家族への周知に関しては不十分であり、マニュアルの存在や訓練の実施について知らない家族がいることにつながっていると思います。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3件	-	・年1回の訓練の実施の際、地域全体で行われる訓練を活用し、大規模な災害の想定がしやすいようにしています。また、子どもへのカリキュラムの中でも災害について触れる機会を作っています。	-
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3件	-	・利用開始時に服薬等の聴き取りを実施しています。また、外出活動の際など必要に応じて、改めて配慮が必要な事項などを確認するようにしています。	・アセスメント更新時に再度聞き取りを行う必要性を感じていますが、実際は細かい変更点の確認などについては詳しく行っていない場合があります。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2件	1件	・事業所の活動で利用者様に飲食物を提供する際には、聞き取りを行うようにしています。	・食物アレルギーについては利用開始時に確認をしたり、飲食活動の際に確認を取るようにしています。しかし、対応の方法が決まっておらず、基本的に本人自身に管理してもらうことが多くなっています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3件	-	・安全計画に基づき、事業所内外の環境整備や確認、必要な訓練などの実施を行っています。	-
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2件	1件	・安全計画を作成し、事業所の見える場所に掲示を行っています。	・懇談の際などに安全計画について触れることはありましたが、声かけや事業所内での掲示のみで具体的にどのようなことをしているかは説明をしておらず、不十分であると感じています。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2件	1件	・ヒヤリハットの事例については、発生した際には必ず事業所内で時間を作り、職員間で情報共有と検討の時間を作っています。	・ヒヤリハットの作成・検討はしているが、事例検討の数が少なく、再発防止に活用ができていないと言います。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3件	-	・虐待防止に関する研修に関してはできるだけ職員に通知し、研修に参加しやすいようにしています。また、他の職員が支援の中で虐待につながらないようによりよい支援方法について話し合えるように声かけをしています。	-
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3件	-	・身体拘束を行う支援について、「身体拘束を行うか？」という議題ではなく、行わないことを前提に話し合いを進めるようにし、「どのような支援ができるか」を検討の議題とするようにしています。	-	